

会 議 録

会議の名称	第五次座間市総合計画策定に係る分野別団体懇談会【生活環境・産業・労働】		
開催日時	令和3年11月9日（火） 19時00分～21時00分		
開催場所	座間市役所5階 5-1会議室		
出席者	<p>【市】</p> <p>佐藤市長、三浦副市長、川島市長室長、大木企画財政部長、田川市民部長、山本環境経済部長、野口都市部長、青木上下水道局長、宮野消防長</p> <p>【団体】</p> <p>生活環境・産業・労働に関する団体 20団体 26人</p>		
事務局	企画財政部企画政策課		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	一人
非公開又は一部公開とした理由	—		
議 題	これからの座間市についての意見交換		
資料の名称	次第 これからの座間市について 補足資料 第四次座間市総合計画の取組結果（一部抜粋）		
会議の結果			
	意見交換		
議事の詳細			
	別紙のとおり		

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 「これからの座間市について」説明

} 別ファイルにまとめています。

4. 意見交換

【コンサルタント】

それでは、意見交換に移りたいと思います。御意見ある方、挙手の方をお願いできますでしょうか。すみません、後ろから2番目の方よろしくお願ひします。

【参加者】

さがみ農協の〇〇です。前回の第四次の取組結果の所を見させてもらっております。6ページ目、私農協の関係者ですから農業中心の話になりますけど、中段の所で「市民等の環境に対する取組を支援すること、また、農業における地産地消や商業における商店街の活性化、工業における道路をはじめとした基盤整備などの課題は、産業の1分野で解決が困難なものばかりである」と、「地域産業の活性化や市民の事業者と協働で市を挙げて取り組む中で、解決すること」だということで、第四次の中では課題は多くあるけれど、解決はあまりされていないという結果になっています。そこで、第五次の中では先ほど御説明があったとおり、要するに産業的な部分につきましてはまちの活性化の話ですとか、環境関係、そういう分野が入ってくるかと思ひます。そこで農業のお話をさせていただくと、総合計画の中で、政策の中には農業という言葉が出てきますけれども、より明確に農業という文言を入れていただきたいというふうに思ひしております。市全体の3割、市域の3割は調整区域で、調整区域の中には農業振興地域あるいは農用地利用計画といったものが定められています。当然農業を振興する場所だと、そういう位置付けになっているわけです。ですから、そういう土地利用が変わらない限り位置付けをよりはっきりしていただきたい、農業振興の。逆に違う見方をすれば、土地利用の計画について、調整区域の3割というのは昭和40年代の後半に都市計画の中で定められています。その間50年近い間には多少の見直しはあったものの、ほとんど座間市域では変わっていません。市民の方にとっては広い空間地で、非常に災害の時にも避難場所あるいは日常潤いや安らぎを与えるそういう緑の空間だと、そういう事になっているのだと思ひます。ただ、農地の保全には農業者、ほとんど農協の組合員の方ですけれども、その保全というのは大変なもので、そこで収益が上がらなくとも何とか受け継いできた農地だから保全をしようとか、そういう意識のもとで皆様やっています。ただ現状は、これは日本国中そうだと思いますけれども、農業者の高齢化で後継者がいないと。農業をやっても所得は得られないと。そういうのが実態です。他から収入を得て何とか農地を保全しようとか。農地の保全というのは非常に機械の購入ですとか、投資で費用が掛かります。そういうことをしてまでも何とかやっていると。ただ、現実はまだ限界かなというふうに感じている。そうになると当然荒廃地が出てきたり、また、集落内とかそういう中での伝統や文化、コミュニティ

が全て崩れ始めています。それはなぜかといいますと現実には代替わりの時に税金というものが、相続税が掛かっています。そこで、何とか、税は義務ですから、自分がお住みになっている屋敷内を売却してまでも納税するわけです。現実的に座間市内そういう箇所がいくつか出てきています。今までも何百年何十年作り上げてきたものがもう正に崩れきている。これから先もっと崩れるのじゃないか、そういう懸念を抱いています。話が長くなりますけれども、そういう中で、まちづくりが土地利用を、都市計画というお話があるでしょうけど、何とかその土地利用の方針を将来に向けて考えていただきたい。具体的に言いますと、調整区域を何とか土地利用できる形態に持っていけないかと、そういうものを考えます。そこは開発の話になるのか、当然そうなるのと財政的にも、先ほど市税はもう減収していると、そういうところで市税の収入の財源にもなるのであると、そういうのをぜひお願いしたいと考えているところです。

【コンサルタント】

ありがとうございます。農業の課題の御指摘、それに対して土地利用といった視点ということも御意見あったかと思えます。その点についていかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきありがとうございます。御意見いただいたことに関しては、私も大変課題を感じているところであります。いただいた御意見をもとに、本市として農業のあるべき姿、また、多角的な産業等々とやはりつながりをもって活性していくという部分も必要だと考えております。農業者の高齢化の課題も挙げられておりましたが、後継者の部分についても新たな視点で考えていく事も必要だと考えておりますし、座間市は大変緑が多いという事で市民の方々から大変住みやすいという御意見をいただいていることもありますので、住みやすい環境、コロナ禍で農業というものが見直されてきている部分もありますので、そういったところも踏まえて今後の計画策定に活かしていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。本日のテーマでもあります産業と農業の視点、それと生活環境にも当然関わってきます土地利用とかそういった御意見だったかと思えます。それに関連して、もしくは別の御意見でも問題ございません。たくさんの方に今日来ていただいていますので、できるだけ簡潔に御意見いただければ、たくさんの方の御意見を言っていただけだと思いますので、どうぞ御協力よろしく願いいたします。そのほかの御意見いかがでしょうか。では、よろしく願いいたします。

【参加者】

災害ボランティアの〇〇と申します。約12年くらいボランティアとして座間市の地域防災というもののお手伝いをしてきたわけですが、ここ数年感じる事は、自治会が溶け始めているという事を非常に感じております。座間は大和、海老名と比べましても、自治会単位が非常に小さい。大和はかなり行政が介入して町目別の自治会に集めてきた。座間にお住まいになっている高齢者の人も非常に生真面目なので、まあ来年、再来年、自分の所に当番が回ってくるとなると退会すると。この退会する人たちは災害の時の要配慮者になるわけですね。そこで縁が切れちゃった、縁が切れたことで孤立しちゃって火事を出してお亡くなりになったというような件もあります。そういう事で、これは何回も市民協働課にはお話ししているのですが、全く動きはなくて、これは民営団体の事だという事で介入を非常に控えられている。これでは地域が壊れていくと。やはり行政区をきちんと立て直すというのは、この地域計画の根本だろうと思います。例えば、民生委員の区域、包括の区域、学区、消防団、これがみんな入り乱れていてちょっと区域がわからないという事になっていますので、この辺を整備しないと今後災害が起きた時に、どうにも收拾がつかなくなると考えております。

もう一つ、これは市議会でも質問が出ておりましたが、マンションが増えてきております。マンションの自治会の組織率というのが非常に弱いという。この人たちはおそらく、市が何かやってくれるだろうと思っただろうと思うのです。ところが、今コロナで避難所の収容数というのが大体2割から3割少なくなっております。そこへ何世帯も入り込んでくるとなると、これも收拾がつかなくなる。という事で、マンションでは、法令で決まっていますので管理組合というものがありますが、これを「みなし自治会」という形で市が扱うという形で連携を取らないと、大規模な災害が起きた時に收拾がつかないということになると考えております。地域防災というのは、当番でやるというのには限界があるわけですね。私は30年間ボランティアでずっとやってきたわけですが、私もそろそろ賞味期限が切れそうになってきて、きちんと伝えていかないと死んだらこれで終わりだという事で、次に控えている彼は現役ですから自分の生活が優先になりますので、この辺の所を、計画を立てる一番基盤になる部分、人のつながりというものをきちんと整理して進めていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。自治会等含めた、マンション立地も含めたコミュニティの問題でございます。今まであるコミュニティを保全して、新しくできるマンション等々のコミュニティの問題、それに関連して防災とか地域のいろいろな課題等にも影響が出てきているとかそういった課題だったと思います。その点いかがでしょうか。そのほか、そういった地域のコミュニティですとか、関連する御意見等、関連する団体の方もいらっしゃると思いますが、御意見等ありましたら。それでは、前の方よろしく申し上げます。

【参加者】

相武台コミュニティセンターの館長をやっております〇〇でございます。今〇〇さんがおっしゃったとおり、自治会の弱体化というか、お年寄りが脱退する云々の話と同時に、若い人は自治会の価値がわかっていないという事で、組織がだんだん崩壊に近づいていることは事実です。大和市は、法人化を自治会に進める事を盛んにやっています。それは何かというと、自治会で持っている土地建物は法人化しないとできないわけですね。私どもの集会所も今登記されておられません。という状態では誰がどうというときに責任感もない、という事ですから一つの方策として法人化を進めるとかいう事にして、自治会の組織を強くしていく、あるいは入ってきやすいような組織を作る事も必要だと思いますし、私もたまたま会長をやっておりますけれども、規約を改正して輪番制はやめようという事で次年度の総会にかけるとしております。できる人が役員をやる、あるいは班長は輪番制にするとか、単年度制はやめて2年制にするとかいう事も含めて。それと先ほどおっしゃったように、やはり民生委員さん、それから社協のエリア、包括のエリア、自治会のエリア、学校区、みんな違います。これでは統合できないので、よそでは学校区自治会という制度をとっております。そういう事で小学校区あるいは中学校区で組織をしておくとか何か学校で集まるときも協働ができるという事で、そのようなことも踏まえて組織の見直し、これは行政がやると非常に難しいですね。自治会の組織を勝手に変えるわけにはいかないです。でも、そういう事を積極的に関与していかないと、ただ、協働だ協働だといっても一つも協働になっていないじゃないかというのが現実だと思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。いろいろな御提案等もあったかと思えます。そのほか関連する団体の方、関連しなくても大丈夫です、よろしくお願ひします。

【参加者】

私は南栗原といって座間の1番端のほうに住んでいまして、間もなく81歳のおじいさんです。話の脈絡がうまくつかどうかかわからないですけれども、私も短時間しか時間がいただけないから。最近思う事は、いま市の健康保持のクラブに参加しているのですけれども、私の南栗原の宝は、坂道が多いという事ですね。坂道はとんでもないという人がいらっしゃいますが、逆に、私は坂道があることが宝ではないかと思っていて、それをうまく利用して、ある意味金のかからないトレーニング場ですから、それを率先してトレーニング場をやってみたいと考えているのですよ。それを今度、明日、何回目になるのかな。そういうことで、他の綾瀬や海老名にあるのかどうか、座間の南栗原には特にそういう坂の多いフィールドがあると、これから是非大勢の仲間を募って、おばあさんが多いのですよ、おじいさんはいません。今のところ私一人です。もうやめようかと思いましたがけれども、市の人に来てやめないでちょうだいと言うから、そうなるはずぐまだやめないのですけれども、一人だからですかね、そういう組織というか仲間を作る。それは

やっぱり最終的には、いろいろな老人会とか自治会とかありますよね。残念ながら私の住んでいる南栗原は、私が知っている限りでは老人会がばたばたと無くなっているのですね。ですから、そういう意味ではメリットというのは、やっぱり元気が出る坂道を踏んで歩くという事ではないかと私は思っています。あまりうまく言い足りませんが。

【コンサルタント】

ありがとうございます。貴重な御提案だったかと思えます。その中でも仲間づくり組織づくりというキーワードが出てきたかと思えますけれども、よろしいでしょうか。この辺で一旦、市からよろしくお願いします。

【市長】

それぞれに大変貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。実は昨日の懇談会でも、同じように区割りの話が出ました。自治会の区割りに関しては市自連の関係者もいらっしゃるので、行政として考えられる区割りというものはやはり考えていかななくてはいけないのかなというのは、私の感じとしては持っていますが、ただ自治会さんにそれを御理解いただけるかという課題はあるのかなと思っています。そしてまた様々な団体によって民生委員だとか保護司だとか区割りが違うという、消防団もそうですね、区割りが違うという課題は感じておりますが、学区というところも、私は小松原ですけれども、小松原一丁目は相模野小学校で、二丁目が旭小という課題もあったりするので、どこまで整理がしきれるかという課題はあると思うのですが、やはり考えていかななくてはいけない時期に来ているという事も感じておりますし、また、自治会の加入率が大変低いという事に関しても本当に懸念をしているところではありますので、そこを皆様と共にどのように増やしていくかということ、地域をどのように作っていくかということこれまでの市民の皆様だけではなく、いろいろな団体もございますし、企業さんもございますので、そういった多くの方たちと地域について有機的に効率的に活性化できるかという事を、やはり真剣に考えていかなければならない時期に来ていると考えております。マンションの自治会の関係の御発言もありましたが、その件に関しましては市自連さんに投げかけをさせていただいているところであります。本当にどこの団体も高齢化が進んでいく中で、継続ができないといった課題があります。大変良い取組をしているので、それぞれの団体の切り口を変えてみたり、御紹介する横のつながりができる事で活性化するという事もありますので、そういった今までつながっていなかった分野の方たちとのつながりを推進して、今までの取組をしっかりと継続できるような形を進めていきたいと考えております。

また、坂道の関係で大変前向きな御意見をいただいたかと思えます。デメリットになりやすい坂道というところをプラスに捉えて健康づくりに活かしていくという考え方、大変大切だと思います。本日 J C さん、青年会議所さん参加をされておりますが、青年会議所でも坂道マラソンと

いう取組をしていただいています。そういった取組も含めて座間市の良い所も皆様でしっかりとPRをしたりしながらまちの活性化に努めていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それではそのほか御意見のある方挙手をお願いできますでしょうか。後ろから2番目の方お願いします。

【参加者】

自然災害についてお尋ねします。今日の三浦半島と逗子葉山、非常に短時間で豪雨があったということです。当然座間市においても、近年非常に豪雨、座間市あるいはその周辺です。皆様の記憶にあるとおり、2年ほど前に台風による城山ダムの緊急放流があったわけです。座間の西側一帯では皆様避難をされた。西側の方の電柱といえば、当然ハザードマップの想定で電柱の所に3m水が来ますと現実に出てきます。これは自然災害だからしょうがないという事を言う方もいますけれども、計画の中にぜひ認識して盛り込んでいただきたいことは、相模川の整備計画です。再整備計画という言い方もありますけれども、これは私が知る限りでは5年ほど前に、国交省が相模川の整備計画というものをはっきりと打ち出しています。その計画は、具体的には30年かけて相模川を整備していくと。整備していくというのは、当然相模川は砂利採取ですとか、上流のダムでは発電ですとか水道、農業用水、そういう様々な恩恵を受けていますけれども、県民あるいは地域の住民があまりにも恩恵を受け過ぎていて、もう本当に川がダメになっているのですよ。上流からの土砂が下流にまで流れない構造になっているのです。茅ヶ崎の海岸に行っても海岸が侵食されてしまっていると。厚木の例えば三川合流地点、中津川、相模川が合流する地点があります。そこは砂利層がなく、土丹という固い土がむき出しになっている。そういうものを踏まえて、国は何とか整備をしていくという方針が出ています。そこで当然行政のほうも、県、市町村も全てこの計画は当然御存知だと思います。それで30年という期間は非常に長いものですから、その間にハザードマップのように相模川が氾濫して水が出ますと、西側一帯の人の命、あるいは財産、そういったものが全部吹っ飛んでしまうわけです。ですから、市の計画の中にも、自然災害の分野の中で、相模川の整備計画、これは具体的には国交省と県の土木事務所によると思いますけど、この中で地元の負担も必ず出てくるわけです。何億という負担が出てくると思います。そういうのをぜひこの計画の中に盛り込んでいただけたらと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。自然災害という事で一つ大きなテーマかなと思います。そのほかそういった安全とか自然災害とかそういった視点で何か御意見のある方いらっしゃいますか。では、前から2番目の方よろしくをお願いします。

【参加者】

座間市の防火安全協会から出席させてもらっていますので、今そういうお話ですので申し上げますが、さっき災害ボランティアの方でもお話がありましたけれども、全体の危機管理というのが、ここ5年、10年非常に範囲が広がってきていますし、座間市に限りませんが、範囲が広がっているというのは要するに減災であるとか防災であるとか地震雷ばかりではなくて、消防でいえば消防ばかりではなくて救急も含め、結局去年今年辺りは病疫、コロナを含め非常に範囲が広がっていますので、それをどう整理して計画していかれるのか、個別の案件というのは今日は時間もありませんでしょうからまた聴き取っていただきたいのですが、それが今の私の中では気になっているところです。

続けてよろしいでしょうか。もう一つ、私座間市に緑を育てる市民の会というところからも今日参加しておりますので、そちらはこのデータによりますと、5ページですかね、景観形成であるとか公園とか広場や緑地といったところの、第四次の指標によるとよくできたという事になっています。ただ問題は、芹沢公園の緑友会なんかが発足していますけれども、むしろできたけれども管理運営ですよ、そちらに関わっている人が御多分に漏れず高齢化していますし、今までは例えば草むしりしていたのができなくなったとかそういう現実がありますから、それを違った組織なりで対応していくかというのがありますから、管理運営の方が実は問題になっているのではないかと考えております。それと全体ですけれども、第五次の資料のほうでは、2番のまちづくりのテーマという丸い図ですけれども、こちらの方が割とわかりやすい目指すまちの姿として七つ、丸を六つと下にバーの所で固めてあってこれは割とわかりやすい一般的に、生活環境とか都市基盤とかで分かりやすいと思うのです。ただ、第四次の取組結果の資料ですけれども、私は第四次にも以前関わったことがあるのもですから、2ページですけれども、政策別まちづくり指標ということで1番から9番まで上げてありますけれども、これが比較的柔らかな表現というか、あまりお役所言葉ではない表現になっていますよね。それで、これについての結果がいろいろ書いてあるのですが、指標数と達成した数が書いてありますが、92に対して17というのは多いか少ないかはいろいろ評価が分かれると思うのですが、いずれにしてもただ並べただけではわかりにくいと思うのです。ですから申し上げたいのは、どのように評価して、せっかくやってきたことですから第五次に活かすべきだと思いますので、それをどう関連付けて、第四次にできたことできなかったことを評価して第五次に活かしていくのかという事を計画しておられるでしょうから、伺えればありがたいですし、そうでなければぜひ活かしていただけるようにしていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいまの御意見、前の方も含めて自然災害であるとか防犯も含めた危機管理といった視点ですね。具体的な相模川の課題とかも御指摘いただきました。また緑とい

うか公園の管理等そういった問題の御指摘、後は今回の総合計画策定に当たっての御意見だったかと思います。市長いかがでしょうか。

【市長】

貴重な御意見をいただきありがとうございます。配布させていただきましたスライドの資料の10ページですけれども、自然災害という事で本市は国土強靱化計画というものが国としては策定するようになってはいますが、これまで策定をしてきませんでした。国土強靱化計画は災害などに対応する計画という事ですけれども、そういったものも第五次座間市総合計画の中には織り交ぜていこうと考えております。また先ほど御意見いただきました相模川の整備計画なども踏まえた上で、本市の自然災害についての内容は考えていかななくてはならないと考えております。本市は危機管理課がございまして、これまで対応してきたわけでありましてけれども、さらにその辺りは組織的にも強化していきたいと考えているところです。また危機管理というところでもだいぶ今回は感染症というところでの対策がございましたが、今後そういったものが増えてくるという話もございまして、そういった部分を踏まえた上でできるだけ大きな括りでの組織づくりというところも考えていかななくてはならないと考えています。

第四次座間市総合計画でできなかった部分ということで、取組結果というものは一部抜粋という事で、このホームページを見ていただくとそれぞれの施策について細かく評価をさせていただいております。それぞれの部署でそれぞれの施策について反省、評価をし、今後の取組、課題などについて整理をしているところでありますので、そういったことを踏まえた上で第五次座間市総合計画に反映をしていきたいと考えています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。そのほかに産業面でいきますと、商工業、観光といった関連もございましょうし、先ほど少し出てきました緑や景観といった面では公園とか環境といったそういった部分も、今日御参加いただいている分野の中には関連してくるかと思います。そのほか御意見ある方いらっしゃれば挙手をお願い出来ますでしょうか。では、前の方よろしく申し上げます。

【参加者】

度々すみません、〇〇です。今お話あったように、私も第四次総合計画の成果を、取組結果を見させていただきました。確かにホームページにはいろいろ載っていますけれど、一つだけ気になったのは、全て「目標に達成しました」という言葉が最後に載っている。全然やっていないのは書いていませんけれども、50%が達成しました、という事は50%は達成していませんよね。達成していないことを今後どう達成するか記載しなければ意味がない。こういう事業の継続性というのは必ず悪かったことを書いて、それをどういうふうに直すのかが必要なのに、これは総会の資料みたいだなと。全て言い訳がついているなというふうにししか見えない。だから文章を

書く時にはぜひ悪い所をどんどん出して、それをどう直すというような書き方に書類はしていただいた方が、我々はこれからどうするかとわかる、というふうに感じました。それと、もう一つ目標の中で脱炭素とかSDGsと書いてあります。もちろん必要なことです。ただ、国が言っているから脱炭素、国が言っているからSDGsじゃなくて、座間市が自分から進んで脱炭素をやろうと、SDGsもやろうという姿勢がないと、国・県が言ったからやろうというふうに聞こえます。ぜひ自治会、座間市がこういう事をやる、要するに先駆けてやるよというような姿勢を見せていただきたいなというふうに思います。特に脱炭素については、今までの5か年というか過去のもので、太陽光を有効に利用してとか、電力の問題で市庁舎についてはいろいろなことをやっています。しかし、コミセンだって何もやっていません。ゴミを削減するとかそういうのは別ですよ。要するに太陽光一つ、そういうことをどうやってやるかと。お金がないじゃなくて、市の庁舎をやるのはお金がなくてもできたわけですよ。それは、いろいろな格好で企業と一緒にやってやったわけです。ですから、そういう方法を考える事が必要になるわけです。今見ていると、これはお金があるから、我々が役所に行ってすぐ言われるのはお金がないからと言われる。お金がないのじゃなくて、はっきり言うと頭がないのではないかと言ったら語弊がありますけれども、それくらいに考えて知恵を絞ることが必要なのだと。是非お金関係に知恵を出してほしいというふうに思っております。すみません。余計なことを言って。

【コンサルタント】

ありがとうございます。第四次の成果を活かしていくという事で、これは今後具体的に検討していく事ですので、ぜひ参考にさせていただければと思います。

もう一つ、脱炭素だとか当然国だけでなくしっかり市が主体的に考えてという御指摘だったかと思います。少しその中でエネルギーとかそういった話もありましたけれども、そのほか例えば環境等に関する御意見とかある方いらっしゃればいかがでしょうか。では、一番真ん中の前の方お願いします。

【参加者】

建築士事務所協会の座間支部の支部長でございます、〇〇でございます。いつも市と協働で、耐震化の推進をさせていただいております。この場を借りてお礼申し上げます。

災害について一つ、私たちが推進している耐震化については、まだまだ進んでいない部分があります。どうぞ強力に進めていただきたいと。木造の耐震化についてはお願いしたいところでございます。それが1点目。

それと、まちづくりについてですけれども、〇〇さんとも一緒ですけれども、本市の景観審議会でご一緒させていただきました。その時に、またこちらも建築的な話になるのですけれども、ちょっと長くなって申し訳ないですけれども、私たち建築士会にも入っています。建築士会で私が計画して座間市の良いところみたいところで回った企画があつて、自画自賛ですけれども良

かったと言ってくれている部分があって。例えば私が行ったのは座間駅からホシノタニ団地に行って、リノベの方法を見て、それで星谷寺に行って、鈴鹿長宿の小道を見て、龍源院を見て、湧水池を見てという、まあ座間市の方だったら定番のまちづくりの名所みたいな形で回ってきています。それがすごく好評を得ています。なぜかという、ハコモノではなくまちづくりをきちんとやっていますねという評価を得ています。それは建築士会でも得ています。それはすごく良いことで、皆様がまちづくりに意識が高いということだと思えるのです。それに対して、私たち景観審議会が1番気にしていたのが、この中でもおっしゃっていられたように、これを維持していく管理運営がなかなか大変だよと、高齢化もしちゃっていると。それをいくら市に言ってもなかなか市の御指導を仰げないという話があるんですね、他の話もあると思うのですけれども、高齢化の話だとか問題もあると思うのですけれども、ぜひなんとか市にお知恵を絞っていただいて、前向きに高齢化の問題とか管理の問題をぜひ助けてあげていただきたい。それで、こちらにせつかくある観光資源みたいなものをぜひ活用して、潤いのあるというか、そういう都市を築いていただきたいと思っています。それが2点目。

3点目は協働体についていろいろあったのですけれども、協働体についての話って崩壊しちゃってるよねという話があると思うのですけれども、それをどういうふうにしていくかという市の姿勢の問題にもなってくるのかなと思っています。それをどういうふうにしていくのかというのがこれからの課題になっていくのかなと思います。上から強制するのではなくて、何かプログラムを考えて、それに皆様が乗っかってくるようなプログラムをぜひ考えていただきたい。例えばみんなで何かをやれば分かち合えるよねみたいな話を、ぜひそのプログラムの仕掛けを市が推進していただくと、なかなかそれはそれで面白いのではないかなと思います。その3点です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。耐震化については御意見という事かなと思います。それと、景観とかまちづくり、そういった評価を得る中での管理というものの課題、後はそれにも関連する協働に関する課題といったところで、もう少しそれは市民の方が乗っかってくるようなプログラムといった視点だったかと思います。その前の方が言われた脱炭素の、ちょっとすみません大きなまちづくりといった観点になるかと思いますが、市長いかがでしょうか。

【市長】

それぞれ貴重な御意見いただきましてありがとうございます。まず脱炭素やSDGsの関係ですけれども、これについては強い意志がございまして、こちらは第五次座間市総合計画の中で取り組みたいと考えてございます。SDGsというのは持続可能な開発目標ということで、本市の行政の取組というのは、もともと持続可能な社会の実現に向けて進めてきたわけでございますけれども、改めて、国連で地球全体として持続可能な地球を目指すという事で、全国的にSDGsの取組は目標を立てて行っていくというところですので、その人類の目標に向けて座間市として

しっかりと取り組みたいという気持ちが現れた今回の第五次座間市総合計画でございます。そのSDGsにも関連しますけれども、本市はこれまで低炭素の社会の実現という事で取組を進めてまいりましたが、今回はさらに一歩進んで脱炭素というところで取組をしていかななくてはならないと、そうしなければ地球の温暖化は防げないというところから、この項目を入れさせていただきました。このSDGsについて、ぜひ中学校で取り組みたいという意見もありまして、やはりこれはみんなで目指すべき目標だと考えております。また、これまで今回の第五次座間市総合計画は市民の皆様、そして企業の皆様、市内で活動している団体の皆様が、業者ももちろんですが、全ての皆様と目標を一つにして、そこに向かってどのように地域の資源を活かしていくかというところを含めて複合的に様々な団体の方たちに集まっていただいてその取組を共有したりすることで、活性化ができるのではないかなと思っています。そういう中で、建築士協会の中で、市内のまちづくりについて回り方を企画していただいたというお話を伺いました。そういったことを観光に活かしていく事も一つの視点としてあると思いますので、今まで建築士協会の方たちと観光協会が有機的につながりを持ったという事はおそらくないのかなと思っています。様々な分野で、例えば健康づくりの場合はウォーキングで座間市を歩くとか、観光協会では七福神の関係で神社仏閣を中心に回るとか、いろいろな回り方をそれぞれの団体で研究されています。そういったものを観光の一つとして取り組むというようなことも必要だと思っていますので、これまでなかなか一つのテーブルでお話ができなかったような方たちも、一つの所で座間市の活性化に向けて観光、経済に向けて話し合うといったようなテーブルをいろいろ準備させていただいて、効率的にみんなで力を合わせられる方向はどうだろうかという事が出来たらと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。そのほか特に発言されていない方、では、前から2番目の方、その後、後ろから2番目の方お願いします。

【参加者】

何点か申し上げさせていただきます。先ほどの〇〇さんもおっしゃっていましたがけれども、第四次総合計画と第五次総合計画のつながりですよね。第四次でまだ不十分なところ、あるいは良かったところ、これをどういうふうに引き継いで第五次につなげていくか。まるっきり違う物を打ち出すというわけではなくて、良いものはそれなりに、悪いものは見直し、これは非常に大事なものだとは私は全く同感であります。

それから、まちづくりのテーマが六つ書いてありますよね。これについてどれくらいするのかというのは今日の段階ではよくわからないのですけれども、これから焦点が絞られていくと思うのですよね。最初の〇〇さんがおっしゃったことは非常に大事だと思っていますけれども、一つは、地域に密着した団体、それは1番大きな団体は自治会ですよね。それから子ども会、老人会。

こういう地域に根差した団体をどういう具合に育成するか。もちろん地域の皆様に頑張っていたくのがベースだけれども、行政としてどう対応すべきなのかということで、非常に大事なところで、これがこれからも住み続けたい安全安心のまちづくりの1番の根本になると思っているのです。これは、第四次の時であろうと第三次の時であろうと、これから第五次、第六次と続くけどこれが根幹ですね。ここがしっかりしていないと素晴らしい座間市を作るのは非常に困難だというふうに思います。ですから、こういうことについての行政というのは非常に総合的になりやすいですよ、あれもこれもこっちもあっちもと。市民からいろいろ要請がありますよ。それをあれもこれもやって何もできなかったと、だから何が根本で何をしたら良いのかとそのことをしっかりやると次次次と前へ進んでいくではないかという具合に思います。

それから観光というか、私、大凧保存会から来ているのですけれども、伝統あるこういう文化、あるいはひまわりまつりだとか、こういうものは誰がやっているかという、そこへ携わっている方が一生懸命大変な苦勞をされているのですね。結果だけを見るのではなくて、実は氷山の下の見えない所でもって、どういう人たちがどういう苦勞をしているか、それについて本当に行政はフォローしているのか、これは1番大事なことだと思います。ですから、そういう事については具体的な各論になってしまうかもしれないけれど、例えばまちづくりの話が先ほどありました。観光関係、景観関係、こういう事全てその根底は何かきちんと捉えていかないと。その為はどういう人たちをお願いするのか、管理をどうするのか、ここは非常に大事なところだと思います。

それから、先ほどの人口の推移を見ていくと、老人の人口が非常に増えているという事ですね。そうすると座間市は高齢者をどういう場合に行政の中にもって、あるいは地域の中で活躍してもらおう、これは非常に大事なことだと思います。この高齢者をいかに行政の中で活用していただくかということは非常に大事ですよ、本当に。ですから、今どのように座間市の高齢者の人たちは日々生活しているのか。ばらばらですよ。俺はもういいやというような生活をしている人もいるし、仕事を一生懸命やるという人もいる。この辺に一つ結束していくような仕組みができないかと。老人の方々の前向きな、市にとっても非常に良いような活躍できるような場をどう提供していくかと。これは、私は第五次計画の中で各論の話になるかもしれないけれど非常に大事なことだという具合に思います。

もう一つ。これは行政サイドの広報紙というのですか、座間の。これはもっと各論になってしまっても恐縮ですけども、座間が行政が何をやっているかというのがわからないのですよ。それだけを見て、最近はもちろんインターネットやいろいろあるけれども、若い人達はそういうものの活用をもって何をしているのかわかるのかもしれないけれど、老人はなかなかそうもいかない。何をもち行政のやっていることを知るのか、ですからそういう広報活動というのかな、第五次総合計画をするにあたって広報活動するのは非常に大事なことだと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。もう一人、2番目の方お願いします。

【参加者】

座間青年会議所の〇〇と申します。我々は40歳以下のメンバーで構成をしまして、市内で会社を営むメンバー、またそれに付随するメンバーが活動させていただいております。立地柄なのですが、建設、建築、製造業、飲食、こういったものを営んでいるメンバーが今多くて、先ほどの災害というところでありますと、こういう市内の企業をしっかりと育てるといふ事、市内の企業を守るという事をこの総合計画にはしっかりと入れていただきたいと。災害時にいざ復旧活動をしよと思っても、やはり重機が無いとか、普段からそれなりの力や技術をつけていないと、いざ災害にも対応できないことが起きてしまいます。また、このコロナによって経済が大きくダメージを受けていますから、市内の企業にとっても本当に耐えているという状況だと思います。その中で製造であればビジネスマッチングを市が積極的にフォローしていただくとか、そういったことも必要だと思いますので、この第五次総合計画には、そういった市内の企業を守って育てるといふ事をぜひ入れていただければと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。今2名の方に御意見いただきました。今後の計画は今日お示したテーマに基づいて、具体的に検討していくためのいろいろなこういうところが重要なのではないかなという御意見だったかと思えます。地域に根差した団体等に関する対応でありますとか、地域の伝統文化ですとかの活動、高齢者を含めてどう結束をしていくのかといった部分、後は、広報、最後に市内の企業を守るための色々な取組等、課題だけではなく御提案等も含めたコメントだったかなと思えます。多岐にわたりますけれども、市長いかがでしょうか。

【市長】

御意見いただきましてありがとうございます。まず、座間市の歴史をしっかりと振り返りながら、良いものは引き継ぎ、改善すべき点は改善するということもしっかりやっていきたいと思っています。そして御意見のあったとおり、地域に密着した団体、老人会、子ども会の組織率の低下というのは重要な課題だと考えております。私も子ども会の活動をずっとやってきたわけですが、新しい切り口でやはり若い方たちと団体をつなげたりという活動もしてまいりました。そういった今までの事をずっと今まで通りにやっていたのでは組織率が低くなってしまおうという状況がありますので、これまでとはまた違った切り口だったり、違う団体の皆様や企業の皆様などと協力して持続可能な仕組みを作っていく、先ほども御意見ありましたが、地域の組織というのをどのように多くの方に参加していただいて、それがゆくゆくは市民の皆様の為になるというところと感じていただけるようなプログラムの作り方というのは大変重要だと思っておりますので、知恵を絞っていきたくて考えています。

そして広報の関係の話がございましたが、「広報ざま」についてもこれから改善を担当として考えているようでありますけれども、そういった改善なども考えておりますし、またDX化を本市としては進める考えであります。ワクチン接種をLINEで予約をさせていただいているわけですが、なかなか高齢の方ですとデジタルは難しいという方もいらっしゃるのですが、今座間市のLINEは6万2千人の友達登録をいただいております。LINEによって広報することでなかなか知らなかった方たちが情報を得ているという状況があります。例えば朝市の関係で情報発信したところ、今までお見えになっていなかったような若い方が参加をされていたりという事もありますので、そういった新しい広報のツールというのも必要だと思っておりますし、デジタル化によって取り残される人がないような仕組みというのも大切だと考えております。また市内の企業の育成、経済の活性化というところは、今まで市内の企業さんの中で様々な交流というのがなかなかできなかったという部分があるのかなと感じているので、マッチングしていくという視点は大変重要だと思っていますので、貴重な御意見として受け止めさせていただき次期総合計画にも反映、考えていきたいと考えております。

【コンサルタント】

ありがとうございます。時間ですけれども、後15分ほどできるかなと思います。こういった機会ですので御意見、まだ発言されていない団体の方も含めて御意見のある方お願いできますでしょうか。いかがでしょうか。では、お願いします。

【参加者】

度々すみません。今話の中で子育て教育の所が一切出ていなかったなという気がしました。今日新聞を見たら、こども庁を作りたいけど文科省のほうは教育を離さないからそれを一元化するのは難しいというようなことが少し書いてありましたけれども、今大切なのは主役を中心としてどうまとまるかであって、そこが今多面的にいろいろなことをやっているから、児童ホームがあったり、子ども育成課もあるでしょう。教育委員会とどうつながっていくか、一体にしないと意外と仕事ばかり増えてしまうということがあるのかな。あるいは人が増えてしまうのではないかな。そういう意味では、こういうのは第五次計画の中に行政改革という言葉が一切無いというのはどうなのかなと。決して減らせとかいうのではなく、新しい目線で見たい行政改革ということもどこかに踏まえていかないと、いろいろな分野を作って各分野で仕事が増えましたになっちゃうのはちょっと困るのかなと。そういうことを、目線を変えて、行政改革の時にこれとこれはつながるのじゃないのかと言う話ができの方が良いのではないのかというのを、今日の会では教育とか子どもに向けた話は無かったので、私実は来年度からコミュニティ・スクールがあるということも知ってまして、それもやることになっているのですけれども、コミュニティ・スクールということは市民協働課と教育委員会なのですね。両方が同じことを知っていますかと。教育委員会では一生懸命やっているけれども、市民協働課は知らないというのでは地域はつながっていか

ない。ですから、そういう事も含めて一緒になって考えていくという制度があっても良いかなと考えています。

【コンサルタント】

ありがとうございます。コメントよろしいですか。お願いします。

【市長】

貴重な御意見をいただきましてありがとうございます。今日は子ども・教育といった話題が出てなかったのですが、冒頭御説明させていただいたとおり、教育という所は市民の皆様も期待しているところでありますので、期待の大きいテーマの一つと考えておりますし、私自身も人を育てるという事が何よりも大切だと考えておりますので、そういったことをぜひ活かせるような次期総合計画にしていきたいと考えております。また、縦割りの行政というところの課題も感じておりますので、庁内の横断的な連携をしていくという事は、これは、大変課題だと考えております。実際に今様々な横断的な取組もしているところですが、さらに横の連携を深めて横断的にやっていくということ、そして庁内だけではなくて様々な地域の方々ともしっかりとつながっていくということも大切だと思っておりますし、コミュニティ・スクールの件に触れていただいたわけですが、コミュニティ・スクールというのは地域のコミュニティの形成という面においても、地域で子どもたちを育てるという考え方の中で、コミュニティ・スクールを行うわけですが、子どもがキーとなって形成されていくという両面があると捉えておりますので、御意見を受け止めさせていただきたいと思えます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。そのほかいかがでしょうか。では、前から2番目の方お願いします。

【参加者】

今、市長から人を育てるというお話があったのですが、私もずっと座間市の行政とお付き合いをしてきたわけですが、どうしても市の職員はジェネラリスト志向なのですよね。らせん状に係長になって課長になってという方向を目指したがる。今の市の人事運営も恐らくそういうスタイルだと思うのです。ところが、こうやっていって、これから話が進むというところで、人事異動で人がいなくなっちゃう。また御破算で願いまして、これを12年間、要援護者のやつをやっているのですけれども、結局は進まない。そうすると、やっても、危機管理の話は私の方が詳しいと思うのですね、申し訳ないですけれども。ずっと関わってきていますのでね。それでまた、市の職員にまた私が話さないといけないというのも妙な話ですよね。ですから、スペシャリストというものをもう少しきちんと処遇していかなければだめだと思うのです。やっぱりスペシャ

リスト志向の職員もいますし、やはりスペシャリストというものも大事にして育てていくということが、座間市を強くしていく一つの論と思うのですよね。

この間、〇〇先生が人材という事をおっしゃっていましたが、いろいろな人材がありますよね。その人材の中で、材として育てるという事は、それだけ投資していかなければいけないので、その辺の面もやっていかないと取り残されてしまうかなと思いますので、ぜひスペシャリストをきちんと処遇してやってほしいですね。

【コンサルタント】

ありがとうございます。ただいまの御意見、それと一つ前の行政改革といった御意見も、今日お示した六つのテーマと、下を支える行財政運営という行政改革に関することだと思います。また総括の時にそれも含めてお話いただければと思います。そのほかはいかがでしょうか。では、よろしくをお願いします。

【消防長】

ただいま〇〇さんの方から、市の職員がだいたい何年かのサイクルで交代してしまうと、その中で消防につきましては、長い人で40年、42年と同じところにいるものがございます。そういう立場から消防として、せっかく本日、地域の活躍されている皆様がお集まりでありますので、お願いというか御案内をちょっとさせていただきたいと思います。

せっかく総合計画でまちづくりのテーマという事で掲げても、やはり災害等が発生してしまうとすべてダメになってしまうという部分でございます。近年の災害は火災救急以外にも、水害、またこのコロナについても災害といっても過言ではないかと思えます。そんな中で、1番大切なのは防災と言われてはいますが、今は防災ではなく危機管理だと思います。まず行政が、我々職員もですけれども、危機管理意識を高め、それを市民の皆様をしっかり伝えるという事が1番大切であると思います。それはお金をかけなくても、気持ちで伝わると思えます。そんな中、皆様の血税で立った新消防庁舎、コロナでこのところちょっと利用されておられませんけれども、今後は総合計画もそうですけれども、座間市の消防庁舎で市民の皆様気軽に来いただき、職員との会話の中でも防災意識が高まりますし、また、逆に我々消防職員も皆様から教わることがたくさんございます。そんな中で、今は消防力と言いましても、常備消防と消防団員、そして立野台地区女性消防隊、防火安全協会、災害ボランティアネットワークの皆様、各自治会の皆様と、そして、危機管理課、これらを全てひっくるめて消防力にしていきたいと消防では思っておりますので、今後総合計画の中でも、やはり命がないとダメなので、それも含めて皆様と一緒にやっていきたいと思っておりますので、ちょっとお話をさせていただきました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。それでは時間のほうも迫ってまいりましたので、意見交換は以上とさせていただきます。今日は広い分野の中で、最初農業の保全の話、それに関わる土地利用の御意見等ありました。また、団体、地域のコミュニティという事もいろいろな災害等含めて重要なテーマであると。さらには危機管理といった視点で、自然災害、防犯といった視点、後は、SDGsの話であったり、景観とか公園も含めたまちづくりをどういうふうに維持管理、マネジメントしていくのかといった視点、企業との連携、最後は行政改革といった視点も重要な課題という事でいただいたと思います。最後に総括といたしまして、市長からコメントいただければと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】

皆様、本日は夜遅い時間に長い時間、大変活発な御意見をいただきまして本当にありがとうございます。本日いただきました意見は、しっかりと私たち受け止めさせていただき、整理をしながら第五次座間市総合計画の策定に活かしていきたいと考えております。最後に人材の育成というところで、ジェネラリストではなくスペシャリストという話がございました。この辺りは課題として感じているところでもあります。そういった視点も含め、行政の在り方という部分も先ほどからお話をしているとおり、庁内横断的にこの課題に向けてどのように効率的にみんなで取り組んでいくか、そして今ある座間の資源、皆様も含め人材資源というものをどのように、今までにない形で融合させていくか、その中で化学反応が起きてくると思っています。前の団体の懇談会の中で、保育園の方が高齢者の皆様の見守りについて取組をいただいているという話をいただきました。また、地域の企業さんが会議室などを子育てのボランティア団体に開放していたりということも事例としてあります。そういった今まで福祉施設でもホールなどお貸しいただけるようなところもあつたりしますので、そういった企業さんなどでも、ボランティアをいただいたりとか、企業自体もSDGsということで目標を立てて取組をしているところもありますので、そういったものなどしっかりと情報を得ながら本市として最小の経費で最大の効果をあげられるような地域の活性化、そして経済の活性化というものに取り組んでいきたいと思っておりますし、また、いつまでも住み続けたい座間であるための施策を取り進めていきたいと考えております。本日いただきました貴重な御意見をしっかりと受け止めさせていただきながら、今後も皆様とこういった懇談の場ですとか、何か協議をする場を設けていけたらと考えておりますので、どうか座間市に対しての御理解、御協力を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は大変貴重な御意見をたくさんいただきまして、本当にありがとうございました。

【コンサルタント】

それでは、意見交換はここまでとしたいと思います。進行をお返しいたします。

5. 閉会

別ファイルにまとめています。